

「全鍍連」 2020年 9月号 若者から一言

茨城県鍍金工業組合

青年部会 会長 飯泉 聡 (株飯泉 代表取締役)

「“兄”の存在」



茨城県鍍金工業組合 青年会会長 (株飯泉 代表取締役 飯泉聡と申します。

茨城県に来てからもう 21 年になりますが、元々は神奈川県横須賀市出身です。

東京で勤めている時に、社内で知り合い付き合い始めたのが、茨城のめっき業の社長の長女でした。

当時の私は、まあ～チャラついておまして、頭は金髪ロン毛、ジャラジャラとアクセサリーをぶら下げて連日ディスコ（古っ）やら何やらと遊び歩いているような人間でした。

それでも、結婚しようかという話になり、彼女の実家に挨拶に行きました。

私は貯金など全く無く、両親は離婚して母との二人暮らし（一人っ子なので）でしたので「お父さんに絶対に反対されるだろうな…」なんて思いながら。

すると、お父様は「経営に興味はあるか？」と言うので「はい」と答えたところ「お金の事なら心配いらないから、さっさと結婚しなさい。お母さんの事も心配の無いようにするから」と言ってくれまして、結婚し茨城でめっき業を継ぐ事になりました。めっきの「め」の字も知らず、青化ソーダと苛性ソーダの違いもよくわからないような状態で、また力仕事もした事が無く、最初はとてもキツかったです。

当初、茨城に友達はいなかったのですが、近隣の佐藤電化工業所の社長と横山鍍金の専務と知り合い、仲良くさせて頂くようになりました。

佐藤さんと横山さんには、めっきや経営の事を色々教えて頂き、一人っ子の私にとってはお二人が兄のような存在です。

お二人に仲良くして頂いたおかげで、これまでめっき業を続けてこれたと、とても有難く思っております。

そんな三人で「茨城組合でも青年組織をつくろうか」という話になり、県内の若手経営者に声をかけ、佐藤さんが初代会長となり青年会を立ち上げました。

近年は県内めっき業の連携体を発足し、めっき企業カタログの作成や展示会に出展するなどの活動がありますが、基本的には親睦会やゴルフがメインのユルい集まりです。

早いもので、発足からもう 13 年になりました。

青年会発足以降、他県の青年組織の皆様には楽しい集まりやゴルフなどにお誘い頂き、大変感謝しております。青年組織のあり方について、とても勉強になっております。

私は二代目の会長ですが、今年で 50 歳になりまして、もう「青年」という年齢でもないのでも…そろそろ若い世代に譲りたいと思っております。

コロナウイルスの影響で、県内のめっき業者は非常に厳しい状況にありますが、皆で力を合わせて生き抜いていきたいと考えております。

今後とも、どうぞ宜しくお願い申し上げます。